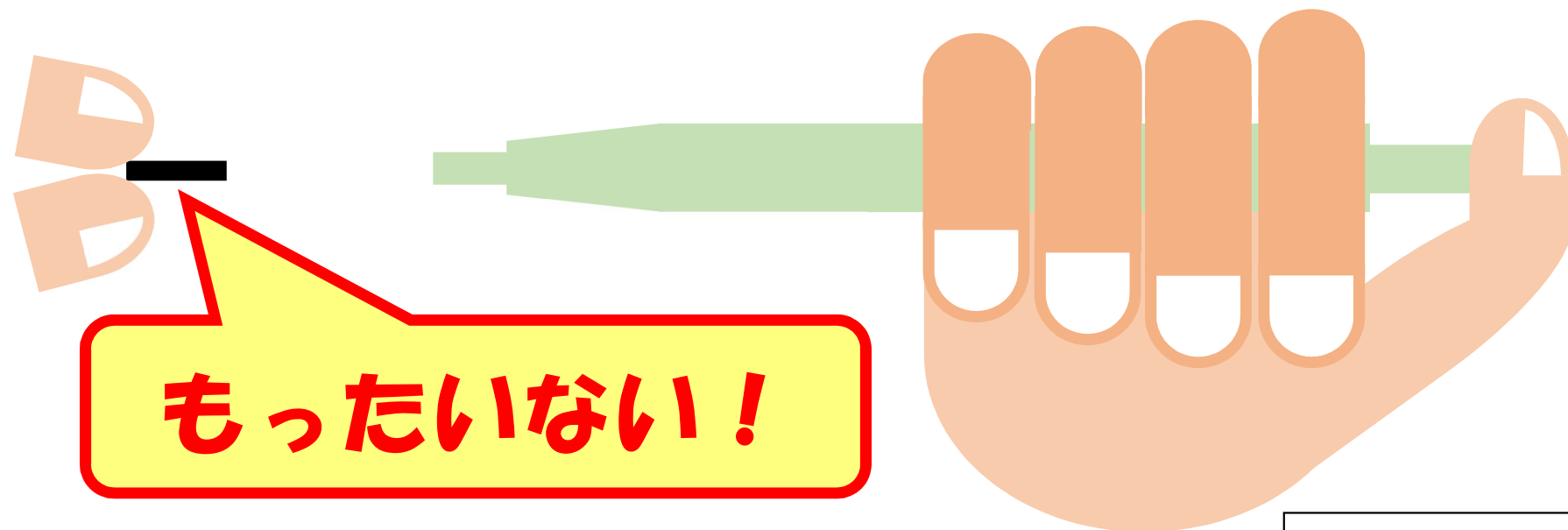
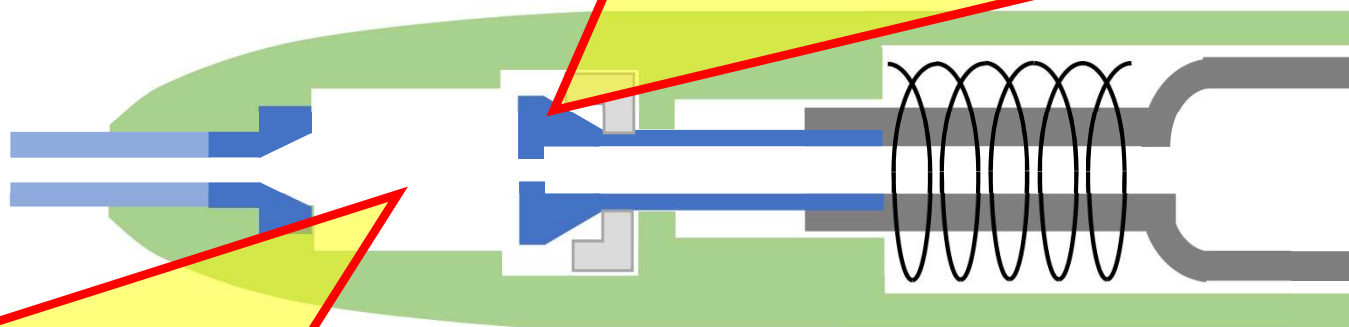


- ・シャープペンシルの芯が短くなって書き難くなると、取り除いて新しい芯を出す。
- ・取り除いた芯は10～15mmほどあるが、使い道もなく残芯となる。
- ・芯は6cm位なので、約2割が残芯である。



芯を支え, かつ, 芯の繰り出しを行うチャック

従来型
の構造



チャックの動く空間も必要となるので、短い芯は支えがなくなる。

【解決手段①】 芯タンクから筆先まで管を通して、管で芯を常に支えるようにする。

【解決手段②】 芯と芯をつないで、芯が抜け落ちないようにする。

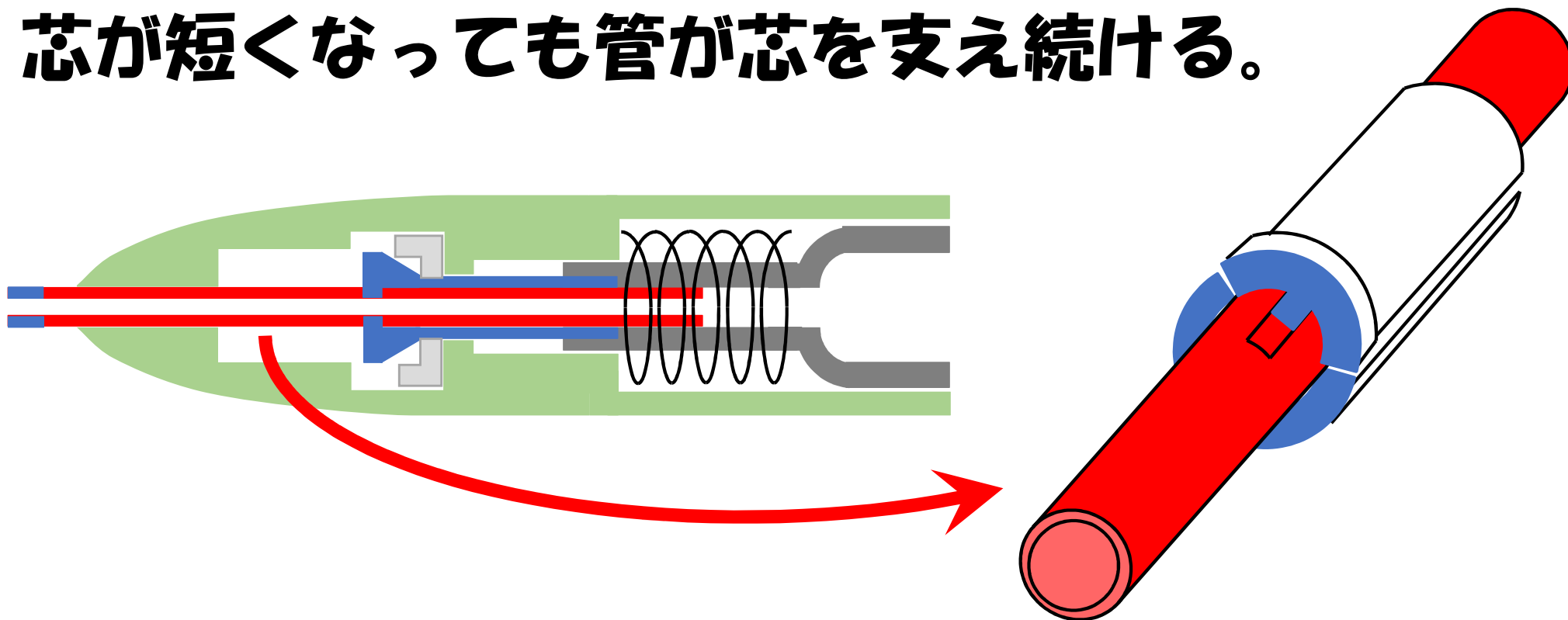
- J-PlatPatで調査した。
- 芯の繰り出しを行うチャックを筆先に近づけて残芯を減らす先行技術があった。

本発明は、チャックの位置と無関係！

- 接着剤を用いて芯と芯をつなぎ合わせる先行技術があった。

本発明は、接着剤未使用！

- ・ 芯が短くなっても管が芯を支え続ける。



- ・ 芯どうしが繋がりがり、
芯が抜け落ちない。



令和4年度

パテントコンテスト

受賞者の声

【受賞について】

優秀賞に選出されたことが驚きでした。そして、出願書類の作成で、特許取得の難しさを体験しました。また、自分のアイデアが書類となることに不思議な気持ちが混ざり、複雑な感覚になりましたが、弁理士の先生にたいへん分かり易く解説していただいたので、無事に仕上げることができました。

【来年度の応募者に向けて】

シャープペンシルの芯が詰まったときに取り除いた芯がもったいないと思っていたので、必ず身の周りに改善したいことがあると思います。

残芯ゼロのシャープペンシルと芯

鹿児島県立穎娃高等学校

山下 雄太

